

第1回自動車運転に関する支援者向け研修会 質疑応答

研修会へご参加いただきありがとうございました。

いただいた質問へ回答いたします。

なお、本回答においては愛知県警察本部運転免許試験場のご協力をいただきました。

医療機関での検査・評価について

Q1. 医療機関で行う神経心理学的検査について、どのように選択したらよいでしょうか？

A1. 神経心理学的検査の選択については、講演でも触れた日本高次脳機能障害学会の指針を参考にされることをお勧めします。これだけを実施すれば良い、という正解はないと思います。あくまでも対象者の方の全体像を捉えることを目的に、評価項目を選択することが望ましいと思います。

Q2. 医療機関での評価では神経心理学的検査の結果に加え「日常生活、社会生活の情報や観察」が必要とありましたが、どのように行っていますか？

A2. 名古屋市総合リハビリテーションセンターでは、特定の評価バッテリーを使用しているわけではありませんが、日常生活がどの程度自立しているか ADL・IADL 評価を参考にします。また、社会生活については特に社会的行動障害の有無(イライラしやすい、感情のコントロールがしづらいなど)については注意して確認します。外来通院される方の場合、普段の様子をよく見ているご家族や周囲の方からのエピソードを参考にするようにしています。

運転免許試験場について

Q3. 運転免許試験場での安全運転相談には予約が必要ですか？

A4. 病気等の相談につきましては、予約の必要はありません。電話の相談や直接来庁されての相談も承ります。

相談時間:午前8時45分～午後5時まで(土曜・日曜・祝日を除く)

ただし身体の適性検査は、事前の電話予約が必要です。

適性検査:午前8時45分～午後3時まで(午後0時から午後0時45分を除く)

Q4. 東三河運転免許センターでも安全運転相談、適性相談は受けられるのでしょうか？

A4. 東三河運転免許センターでも平針の運転免許試験場と同様の相談、検査を受けることができます。

Q5. 患者さんにどのようなタイミングで安全運転相談および適性検査を受けてもらうよう説明するのがよいでしょうか？

A5. ある程度症状が落ち着くかもしくは、寛解された時に相談をしていただき、適性検査の予約をお願いします。まだ症状が固定されていない方や、治療途中の方が診断書を出されたり、適性検査を受けられますとあまりよくない結果が出てしまう可能性があります。

Q6. 適性検査でのシミュレーター検査は、片麻痺などの運動障害がある方は必ず行っていただけるのでしょうか？

A6. 運転免許更新時や運転免許試験時に身体障害がある方は、視力検査のほかに身体の適性検査を必ず受けていただいています。条件を付けて更新もしくは試験を受けていただく方は、シミュレーター検査を行っております。

Q7. 適性検査で実車での評価はしていただけるのでしょうか？

A7. 実車での評価は行っておりません。運転再開時の条件を付けるか付けないかの判断については、シミュレーターで検査をしております。

Q8. 一定の病気に該当する方が安全運転相談、適性検査を受けずに運転をして違反や事故を起こした場合、特別な罰則はありますか？

A8. 相談や適性検査を受けていないことによる罰則はありません。

しかしながら、病気で体調が悪いときに無理をして運転され、事故を起こしてしまった場合は、通常の状態ですら事故を起こしてしまった場合に比べて、過労運転の中止(道路交通法第 66 条第 1 項)に触れる場合があります。身体障害があり、運転に適した装具等装着せずに運転され事故を起こしてしまった場合は、安全運転義務違反(道路交通法第 70 条)に触れる場合があります。身体に障害が残られた方は、適性検査を受けられて免許に条件を付けるか付けないか判定されることをお勧めします。

また医師に運転を控えるように指示されているにも関わらず運転をし、重大な事故を起こしてしまった場合は危険運転致死傷罪に該当する可能性もあります。

Q9. 診断書の指定年数に合わせて再検査が可能とのことですが、最長どれくらいまで可能ですか？

A9. 診断書の指定年数は、最長で 5 年です。

Q10. 免許取消された方が再取得した割合はどのくらいですか？

A10. 統計はとっておりません。医師から治療やリハビリ等で回復する見込みのある方が、特定取消処分を受けられ 3 年以内に運転免許を再取得されていく方が毎日数名みえることから、回復の見込みがある方は免許証を失効させる(期限切れ)ことなく、更新手続き後、特定取消処分を受けていただくことをお勧めします。

Q11. 認知症の診断がない方に相談を勧めたい場合、どのような提案の仕方をしたらよいですか？

A11. ご本人の意向も踏まえご家族や周囲の方の意見も確認し、安全運転相談という窓口があることを情報提供されるのが良いと思います。

名古屋市総合リハビリテーションセンターについて

Q12. 名古屋市総合リハビリテーションセンターで運転評価を依頼する場合、患者さんの費用負担はどのくらいになりますか？

A12. 保険診療範囲内で自己負担が発生します。詳しくはお問い合わせください。

Q13. 名古屋市総合リハビリテーションセンターで運転評価を依頼する場合、評価内容に給油時の操作は含まれますか？

A13. 給油時の操作確認は含みません。ただ大切な着眼点ではあると思いますので運転の再開が見込まれる方に関しては、必要に応じて車種の確認や動作確認も必要と考えます。セルフ給油が難しければ有人のガソリンスタンドを利用する、給油は他の人に依頼する等の様々な代替手段の検討も必要かもしれません。ただ、給油操作に懸念がある身体障害をお持ちの方に関しては、必ず運転免許試験場で適性検査を受けるようご案内することをお勧めします。

Q14. 運転に関するガイドブックはいつ頃完成しますか？

A14. 2022年4月中の完成見込みです。

完成次第、ホームページより無料ダウンロードいただけるよう準備を進めております。

ご不明な点などございましたら、なごや高次脳機能障害支援センターへお問い合わせください。